

オプトアウト用資料（当院ホームページ掲載用）

研究課題名	方向性冠動脈粥腫切除と薬剤塗布性バルーンを用いた冠動脈血行再建術後の血管治癒反応と心血管予後の検討
当センターの研究責任者	循環器内科/山本裕之、澤田隆弘
研究目的	当院での方向性冠動脈粥腫切除術（DCA）による経皮的冠動脈血行再建術後成績（複合評価項目：死亡（心臓死、非心臓死）、非致死性心筋梗塞、追加血行再建術（標的対象血管に対する血行再建術あるいは標的対象病変に対する再血行再建を含む））を評価し、臨床所見・血管内所見と対比することで、DCA治療後の予後増悪因子を特定することを主目的とする。
利用する情報	<p>■対象 冠動脈疾患により入院され、DCA治療を受けられた20歳以上の患者さん。</p> <p>■利用情報の内容 電子カルテに記載されている診療記録及び血管内治療中に得られた画像所見を利用する。</p> <p>■利用情報の該当期間 2015年4月～2022年3月</p>
利用情報の他機関への提供の有無 (有の場合はその名称)	無し
個人情報の取り扱い	氏名や住所等の個人を特定できる内容は削除
企業等からの資金提供の有無 (有の場合はその名称)	無し
お問い合わせ先	担当者名：山本 裕之 電話番号：079-293-3131
備考	